



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月2日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス  
 コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

TEL 052-689-1129

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,829	3.1	6,921	12.5	7,041	15.5	4,161	28.3
23年3月期第1四半期	15,348	8.1	6,150	25.6	6,098	19.5	3,242	9.1

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 4,183百万円 (26.9%) 23年3月期第1四半期 3,296百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	145.20	145.12
23年3月期第1四半期	109.60	109.55

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	145,781	120,131	82.2
23年3月期	151,636	121,947	80.2

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 119,790百万円 23年3月期 121,638百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	91.00	—	101.00	192.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	110.00	—	110.00	220.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,800	1.2	13,000	7.9	13,200	8.9	7,750	14.9	271.36
通期	62,000	0.9	26,000	6.9	26,300	6.7	15,650	12.0	548.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 詳細は【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	31,325,000 株	23年3月期	31,325,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,864,781 株	23年3月期	2,364,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	28,659,192 株	23年3月期1Q	29,585,715 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算短信補足説明資料は、平成23年8月2日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

(金額表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間および当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における自動車流通市場を取り巻く環境は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受けて、国内自動車メーカーの生産が大幅に落ち込み、新車登録台数は774千台（前年同期比33.1%減）と大幅減となりました。一方、震災後の復旧需要等の影響もあり、中古車登録台数は1,553千台（前年同期比1.9%減）と微減にとどまりました。（（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

オートオークション市場は、新車登録台数の大幅な減少を受け、新車買替時に発生する下取り車両や買取車両が減少したことから、出品台数は1,493千台（前年同期比10.9%減）となりましたが、震災後の復旧需要などにより需給が逼迫し、成約台数は958千台（前年同期比0.8%減）と微減、成約率は64.2%（前年同期実績57.6%）と大幅に上昇しました。（月刊ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間は、売上高15,829百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益6,921百万円（前年同期比12.5%増）、経常利益7,041百万円（前年同期比15.5%増）、四半期純利益4,161百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

#### オートオークション

オートオークション事業は、東日本大震災による影響もあり出品台数は509千台（前年同期比11.4%減）と伸び悩みましたが、中古車流通市場における需給バランスの逼迫から成約率は69.7%（前年同期実績60.3%）と高水準で推移し、成約台数は354千台（前年同期比2.3%増）と増加しました。また、一部の会場で手数料体系やコーナー編成を見直したこともあり手数料単価は上昇し、増収となりました。

営業費用については、減価償却費、賃借料およびのれん償却額が減少し、前年同期と比較して大幅な増益となりました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高11,195百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益6,532百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

#### 中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」および事故現状車買取販売は、堅調なオークション相場に支えられ台当たり粗利益が増加したことや、取扱台数が増加したことなどから増収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高3,175百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益285百万円（前年同期比153.0%増）となりました。

#### その他

株式会社アビジは、廃自動車や工場廃材等の取扱量が減少したことに加え、材料仕入単価の上昇もあり減収減益となりました。

株式会社U S S 東洋は、人工芝向けゴムチップなどの売上が堅調に推移したため増収となりましたが、原材料費高騰の影響などにより減益となりました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高1,458百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益75百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は145,781百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,855百万円減少しました。これは、現金及び預金が3,541百万円減少したことや、オークション貸勘定が1,835百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は25,649百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,039百万円減少しました。これは、オークション借勘定が1,739百万円減少したことや未払法人税等が2,783百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は120,131百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,815百万円減少しました。これは、自己株式の取得により自己株式が3,078百万円増加したのに対し、利益剰余金が1,236百万円増加したことなどによるものであります。

#### <キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2,841百万円減少し、26,438百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,043百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7,058百万円(前年同期比27.6%増)、減価償却費及びその他の償却費990百万円(前年同期比13.3%減)、法人税等の支払額5,586百万円(前年同期比10.3%増)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は163百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入700百万円(前年同期実績一百万円)、関係会社株式の取得による支出268百万円(前年同期実績一百万円)、投資有価証券の取得による支出157百万円(前年同期実績一百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6,049百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出3,078百万円(前年同期比43.3%増)、配当金の支払額2,924百万円(前年同期比2.9%増)によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響により合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、懸念された国内自動車メーカーの生産体制も正常化に向かいつつあり、概ね業界動向を見通せる状況となりましたので業績予想を公表いたします。

当第1四半期連結累計期間は、東日本大震災の影響を受けオートオークション事業の出品台数は伸び悩む結果となりましたが、第2四半期以降の国内自動車メーカーの販売台数増加に伴い、新車買替時に発生する下取り車両や買取車両は増加し、オークション出品台数も徐々に増加するものと思われま。

これらの状況を踏まえ、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、オートオークション事業の出品台数2,060千台、成約台数1,350千台、成約率65.5%と予想し、連結売上高62,000百万円、営業利益26,000百万円、経常利益26,300百万円、当期純利益15,650百万円としております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

### (4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,980	27,438
オークション貸勘定	11,151	9,315
受取手形及び売掛金	2,685	2,341
有価証券	—	102
たな卸資産	973	770
その他	1,360	1,838
貸倒引当金	△76	△70
流動資産合計	47,074	41,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,002	31,535
土地	59,100	59,072
建設仮勘定	23	26
その他（純額）	3,352	3,079
有形固定資産合計	94,479	93,713
無形固定資産		
のれん	108	86
その他	1,005	957
無形固定資産合計	1,114	1,044
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,074	9,395
貸倒引当金	△105	△108
投資その他の資産合計	8,969	9,287
固定資産合計	104,562	104,044
資産合計	151,636	145,781
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	11,502	9,762
支払手形及び買掛金	649	537
短期借入金	188	203
未払法人税等	4,932	2,149
引当金	493	726
その他	5,227	5,615
流動負債合計	22,994	18,994
固定負債		
長期借入金	167	152
引当金	133	142
資産除去債務	705	707
その他	5,689	5,652
固定負債合計	6,695	6,654
負債合計	29,689	25,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,972	18,972
利益剰余金	104,012	105,249
自己株式	△15,310	△18,388
株主資本合計	126,556	124,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	36
土地再評価差額金	△4,961	△4,961
その他の包括利益累計額合計	△4,918	△4,924
新株予約権	31	34
少数株主持分	278	306
純資産合計	121,947	120,131
負債純資産合計	151,636	145,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	15,348	15,829
売上原価	6,643	6,464
売上総利益	8,705	9,365
販売費及び一般管理費	2,554	2,444
営業利益	6,150	6,921
営業外収益		
受取利息	1	3
不動産賃貸料	42	42
複合金融商品評価益	—	39
雑収入	30	43
営業外収益合計	74	128
営業外費用		
支払利息	2	1
不動産賃貸原価	3	3
複合金融商品評価損	117	—
雑損失	3	3
営業外費用合計	126	8
経常利益	6,098	7,041
特別利益		
固定資産売却益	3	23
貸倒引当金戻入額	15	—
特別利益合計	18	23
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	11	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	516	—
その他	57	1
特別損失合計	585	6
税金等調整前四半期純利益	5,532	7,058
法人税等	2,205	2,867
少数株主損益調整前四半期純利益	3,326	4,190
少数株主利益	83	28
四半期純利益	3,242	4,161

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,326	4,190
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△30	△6
その他の包括利益合計	△30	△6
四半期包括利益	3,296	4,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,212	4,155
少数株主に係る四半期包括利益	83	28

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,532	7,058
減価償却費及びその他の償却費	1,142	990
のれん償却額	101	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	261	233
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10	9
受取利息及び受取配当金	△1	△3
支払利息	2	1
複合金融商品評価損益 (△は益)	117	△39
投資有価証券評価損益 (△は益)	56	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2	△17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	516	—
オークション勘定の増減額 (△は増加)	△633	96
売上債権の増減額 (△は増加)	351	344
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16	△112
預り金の増減額 (△は減少)	393	471
その他	△699	△423
小計	7,128	8,627
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△5,066	△5,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,061	3,043
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	700
有形固定資産の取得による支出	△428	△127
有形固定資産の売却による収入	4	48
無形固定資産の取得による支出	△102	△28
投資有価証券の取得による支出	—	△157
長期前払費用の取得による支出	△178	△5
関係会社株式の取得による支出	—	△268
その他	△3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△707	163
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△196	50
長期借入金の返済による支出	△49	△49
預り保証金の預りによる収入	50	56
預り保証金の返還による支出	△23	△23
自己株式の取得による支出	△2,147	△3,078
配当金の支払額	△2,842	△2,924
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△112	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,321	△6,049
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,968	△2,841
現金及び現金同等物の期首残高	29,681	29,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,713	26,438

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	11,056	2,836	13,893	1,455	15,348	—	15,348
セグメント間の 内部売上高また は振替高	115	0	115	0	116	△116	—
計	11,172	2,836	14,008	1,455	15,464	△116	15,348
セグメント利益	5,901	112	6,014	105	6,119	30	6,150

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業であります。

2. セグメント利益の調整額30百万円には、セグメント間取引消去30百万円、のれんの償却額0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,195	3,175	14,371	1,458	15,829	—	15,829
セグメント間の内部売上高または振替高	138	0	138	0	139	△139	—
計	11,334	3,175	14,509	1,459	15,968	△139	15,829
セグメント利益	6,532	285	6,817	75	6,892	28	6,921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業および株式会社U S S ロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額28百万円には、セグメント間取引消去28百万円、のれんの償却額0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、平成23年5月10日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式500,000株を取得いたしました。これにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,078百万円増加しております。

(7) 重要な後発事象

(自己株式の取得)

当社は、平成23年8月2日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することおよびその具体的な取得方法について決議いたしました。

① 取得する株式の種類

当社普通株式

② 取得する株式の総数

500,000株（上限）

③ 取得する期間

平成23年8月3日から平成23年9月22日

④ 取得価額の総額

3,250百万円（上限）

⑤ 取得の方法

市場取引

#### 4. 補足情報

##### (1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	153	158	3.1	620
営業利益	61	69	12.5	260
経常利益	60	70	15.5	263
当期純利益	32	41	28.3	156

##### (2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	28	27	△2.4	111
成約手数料	26	27	2.4	104
落札手数料	35	37	4.2	141
商品売上高	2	2	2.4	7
その他の営業収入	17	16	△0.9	68
オートオークション計	110	111	1.3	433
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	18	20	10.9	83
事故現状車買取販売	9	10	14.1	41
中古自動車等買取販売計	28	31	12.0	124
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	12	12	△0.9	46
廃ゴムのリサイクル	2	2	4.7	12
中古自動車の輸出手続代行サービス	—	0	—	2
その他計	14	14	0.2	61
合計	153	158	3.1	620

##### (3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	5	1	△70.6	30
完工ベース	1	1	32.6	30
減価償却費	11	9	△14.2	38